

藤間秋男の お元気さまです。

●今月の経営テーマ “仕事を通して成長しよう!”

仕事を通して成長することで次のようなメリットがあります。

①仕事のやりがいが高まります ②周りから必要とされる人材になります ③職場が活性化します

④業績が上がります ⑤可能性が広がります

株式会社 日本創造教育研究所『理念と経営』カレンダーより



(1) コアコンセプト (絶対的差別化)経営 についてか?
別紙社長情報に TOMAグループの取組を記して記事に
あり、TOMAグループの本音のありたい姿や現状を書いて
いただきました。TOMAグループのコアコンセプト経営
を紹介させていただけます。

(A) 3つのコアコンセプトが顧問先の黒字化を促進する

① 社長、役員、社員、企業が「明るく元気、前向き」に
なつて努力を続ける。TOMA社員も率先して、もっと
「明るく元気、前向き」な努力を続ける。

② あじゆ経営課題の7つのサービス体制を整えて
いる。公認会計士7名、税理士32名、国税局OB税理士8名、
税理士試験科目合格者28名、社会保険労務士10名、
行政書士4名、司法書士3名、中小企業診断士3名、各種
コンサルタントが、それぞれの得意分野を担って、多種
多様な相談に対応している。

③ お客様の足元とる経営を実践している。社内経営コン
サルタートからの指導による、理念経営、クレド経営、経営計画
の立案、PDCA、会議体の整備、社内法裁システム
ISO、社内人事労務コンサルタントからの指導による
人事制度、人事評価システムなどは、お客様の足元と
るシステムになっています。全社員が「お客様に TOMAは
こう取り組んでいます」と話しています。

(B) お紹介してほしい 企業の経営課題を提案する

(C) 「人を育つ、人に任せ、次世代に引き継ぐ」こと

と TOMAが実践して、お客様の足元とるような事業展開
を実践中。

(A) お客様を100年企業に育て上げて TOMAは、
1000年企業を目指す、(TOMAグループは125年企業)
TOMAは他のコンサルタント会社、会計事務所と違う
上記のようなコアコンセプトがあります。それが「明るく
元気、前向き」な努力を続ける。TOMA社員も率先して、
もっと「明るく元気、前向き」な努力を続ける。結果、
価格競争などではなく、社員も頑張っている。TOMAも
コンサルタント部門が、お手伝いさせている。

(2) 「自分が一日怠ければ、日本の進歩が一日遅れる」
明治時代のリーダは、上記の気概を持って、(藤尾素明氏)
生きてきた。今の生き方が、そのまま10年後、その人の生き方
であり、年を取ると、自分だけ人生は下り坂になっている。
そう思うと、今の目の前にあることに全力を尽くすこと、
その姿勢を習慣化すること。

① 稽古(けいこ)をしなければ、いつまで成長できるかは、
② 一つ山を登れば、彼方にまた下る山が控えている。
それをまた登る。力をつける。(①②中川一政)

③ 「人と比較して劣っている」といふも決して恥ずることは、
けれども、去年の自分と比較して、もしも今年が劣っている
としたら、それは恥おかしなことである。
今日、この自分が今を怠惰に生きるとは、1年後の今日も同じ
ように怠惰に生きる。(松下幸次郎)

社長様、幹部様へ。「自分が一日怠ければ、
会社の進歩が一日遅れる」いかかでしょうか。

(3) 理念をカタチにしましょう。(上野淳)

「理念がなければ、必ず儲かるか」と言われるが、私は
そうは思っていない。理念がなくても高い利益を
出していることはある。しかし利益を出し続ける
企業の特徴として、必ず組織内に「共通目標」が

あります。「ニッパに回って実を修めろ！」という社員全員
の道しるべ」のよるものでも、要はこれを「理念」という
形に 明文化するかどうかの違いです。
組織が大きいほど大きいほど、事業所が増えいくほど
社員が物仕で不在の企業などには「実面目標」が導かれ
ています。同じことを描いているつもりが少しずれている。
実感できるかどうかあります。だからこそ「言葉だけ」といわれる
のでも「明文化する」ことが必要になってきます。
それが「理念」なのです。
TOMAGUグループは「理念創り」のお手伝いしています。
お気軽に相談下さい。

そして飛快的に選んで52の言語を得ることか。大それた。
(5) 理念と経営の交差点会より。(600回をぬす(マイ))

